

どこよりも日本の竹を集め、どこよりも日本の竹を活用しています 日本の竹100%の「竹紙(たけがみ)」

中越パルプ工業 株式会社

竹紙は、日本の竹100%を原料にした
中越パルプ工業だけの製品です



日本の竹100%の「竹紙」

総合製紙会社の中越パルプ工業は、2009年から日本の竹100%を原料とした「竹紙」をマスプロ製品として、製造販売している唯一の企業です。「竹紙」はサステナブルな素材として注目が高まっています。

- 工場の所在する鹿児島県を中心に、毎年約1万トンの国産竹を買い取り、地域経済に貢献。
- 使い道のない竹の有効活用は、放置竹林の整備にも寄与し、森林や里山、生物多様性保全にも役立つ。
- 針葉樹と広葉樹の中間的な性質を持つ繊維により、印刷用途から封筒、袋、包装用途まで、幅広く活用できる。
- 製紙原料には不向きな竹を、地域のためにと、行動を起こした一人から始まった取り組みであり、様々な社会的課題に対する気づきを与えるきっかけにもなる。竹紙の取り組みはCSVの好事例とされる。
- 第8回エコプロダクツ大賞 農林水産大臣賞、第3回生物多様性日本アワード 優秀賞、第15回グリーン購入大賞 優秀賞他、受賞多数。高い社会的評価が続く。

中越パルプ工業 株式会社 営業企画部

〒100-8533 東京都千代田区内幸町1-3-2 内幸町東急ビル 8階

03-6811-2971 honsha-eigyokikaku@chuetsu-pulp.co.jp <http://www.chuetsu-pulp.co.jp>

竹セルロースナノファイバーでも圧倒、続々商品化しています 最新素材セルロースナノファイバー「nanoforest」

世界のどこよりも早く、日本の竹からセルロースナノファイバーを作り出しました。すでに続々と商品化しています

原料パルプをナノレベルまで微細化した次世代の新機能素材です。当社は、2013年には研究開発、サンプル販売をしています。2017年には鹿児島県で商業プラントを稼働、世界のどこよりも早く竹セルロースナノファイバーの生産・販売を開始しています。

竹セルロースナノファイバーの商品一例

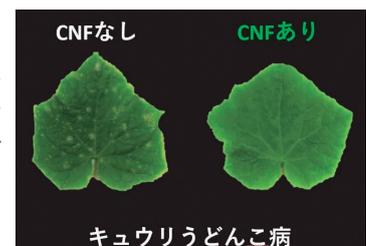
「化粧品原料への利用拡大」

100%天然由来の美容成分で肌の調子を上げていく色付き美容クリームクッションです。シリコンフリーを実現し、水分をキープしてツヤ感とカバー力ある仕上がりを長時間保ちます。



「農業分野への利用」

植物に散布すると葉面をネット上に覆い、物理的に病原菌の侵入を予防します。また病原菌が植物葉面だと認識できなくなり、内部への侵入を防ぐことができます。



中越パルプ工業 株式会社 開発部 CeNF 担当

〒933-8533 富山県高岡市米島282

問合せフォーム <https://www.cpc-cenf.com/form.html>